

## 1 施設の概況

平成 28 年度は、施設利用者定数充足に苦戦した 1 年となった。

その原因として、生活困窮者への支援サービスが多様化し、各福祉事務所に就労相談員が配置されるなど、施設利用以外での支援体制が充実しつつあること等が挙げられる。

そのような中、千駄ヶ谷荘は、就労特化型更生施設を積極的に PR するために、福祉事務所向け施設説明会の複数回開催や、随時施設利用状況を伝えるなど、施設利用促進に向けて創意工夫を図ってきた。

平成 29 年度は、多様な利用者のニーズに応えるために、千駄ヶ谷荘は新たな就労支援プログラムの構築に挑戦していく。

具体的には、昨年開設した無料職業紹介所を本格稼働させること、近年増加傾向の若年者向けの支援を充実させることの 2 つを目標とする。これまで千駄ヶ谷荘が培ってきた実績、経験をもとに、この 2 つを組み合わせたプログラムを構築することで、新たなアプローチによる就労支援を実施していく。

豊富な求人情報を活用しながら、利用者同士の相互作用を促しつつ、就労意欲を喚起させ、安定就労に繋げていく。

施設利用状況が厳しい中、利用者支援の幅を広げていくことで、福祉事務所のニーズに応え、就労特化型更生施設としての使命を果たしたいと考えている。

## 2 主要目標と取組

### (1) 多様化するニーズに対応出来る新しい支援プログラムの導入

- ① 無料職業紹介所により、就労希望者にダイレクトな情報提供と支援活動を実施する。
- ② 就労をきっかけに自己の気付きを促す「就労ガイダンス短期講座」を開設する。
- ③ 自由な発言の中で自らと向き合う「駄弁会」を毎月 1 回以上開催していく。

### (2) 就労特化型更生施設としての無料職業紹介所の活用促進

- ① 就労先の協力企業開拓促進により幅の広い就労先の確保に努める。
- ② 利用者の状況に応じて最適な就労先の紹介を実施する。
- ③ 施設内で求職活動が出来るハローワークインターネット環境を整備する。

### (3) 地域福祉への貢献と関係機関との連携強化

- ① 利用者を中心とした横断的な関係施設間の連携を強化する。
- ② 通所事業利用者の生活破綻時における積極的な入所受入れを行う。
- ③ 地元商店会やボランティアの積極的活用により地域に根ざす施設を目指す。
- ④ 年間入所目標（対定員利用率）

定員	29 年度目標	28 年度目標	28 年度実績(見込)
60 人	110 人 (183.3%)	120 人 (200.0%)	98 人 (163.3%)

## 3 管理運営

### (1) 日常の援助

- ① 自立支援プログラムを軸にした目標設定と支援
  - ・自立支援プログラム（基本 6 か月）の実施と改善見直しの実施
  - ・相部屋であることを活かした、利用者同士の目標達成へ向けた相乗効果の醸成
  - ・就労自活のみならず、半就労対象者も視野に入れた支援体制
  - ・利用者の状況を把握しながらの、必要に応じた支援計画の調整実施
- ② 自分自身への気付きを通して社会への参加を促すグループワークの実施
  - ・若者を中心とした利用者対象のグループワーク「駄弁会」の実施
- ③ 利用者の意見をボトムアップ出来る支援の推進
  - ・利用者の人権に配慮した、苦情解決制度による迅速な対応
  - ・各種アンケート調査、懇談会等の実施による利用者ニーズの把握と対応

(2) 就労特化型更生施設としての支援（自立促進・転出促進）

- ①無料職業紹介所の開設による幅の広い職業紹介
- ②入所直後に就労意欲促進を図る就労ガイダンス短期講座の開設
- ③東京ジョブステーション、ハローワークとの連携による就労活動、継続支援
- ④必要に応じて職場同行をするなど、利用者に寄り添った支援の実施
- ⑤住宅相談員制度の活用と的確な不動産情報の提供によるアパート転宅支援
- ⑥アパート生活に課題が残る利用者に対し、借上げアパートの提供と社会復帰促進事業の活用による転出促進

(3) 給食関係

- ①就労者向けの献立の作成
- ②求職・就労活動状況に応じた食事提供（昼食弁当、外食代支給等）
- ③利用者の意向に添ったセレクトメニュー、フェアメニューの実施
- ④季節感のある食事の提供（正月料理・外注による寿司・うなぎの提供等）

(4) 諸行事

- ①定例行事
  - ・全体懇談会（月1回）
  - ・クリーンデー（月1回）
- ②その他の行事
  - ・餅つき大会（年1回）
  - ・その他催事

(5) 消防・防災・防犯等

- ①消防避難訓練（総合訓練、地震・洪水想定大規模防災訓練、夜間想定避難訓練）
- ②事故等対応マニュアル、事業継続計画の確認調整、非常用備品の点検と補充
- ③防災管理者講習会・上級救命講習会への職員受講
- ④窓口当番の徹底、部外者の訪問時に必ず行う声かけ等、防犯対策の確実な実施

(6) 職員会議等

- ①定例会議（朝の引継ぎ・職員会議・給食連絡会）
- ②ケース検討会議（支援職員会議・関係機関との定期的なカンファレンス）
- ③所内PTの設置（若年等への支援・駄弁会・自立支援プログラム見直し）

4 保健衛生・環境整備

(1) 保健衛生

- ①嘱託医による入所時検診及び看護師との面接による病状・全身状態の把握
- ②服薬の自己管理と事務所管理の援助（状況により随時）
- ③利用者健康診断の定期的な開催とインフルエンザ予防接種

(2) 環境整備

- ①利用者との協働による施設内外の清掃（各階当番・大掃除・クリーンデー）
- ②委託専門業者による床・ガラス清掃、浴室清掃、防虫消毒の実施
- ③園芸活動（庭木の手入れ・花壇の植栽）による施設内外の美化・緑化推進

5 施設の社会化（地域交流事業及び施設機能強化推進事業）

(1) 施設機能強化推進事業

- ①自活退所者向け交流事業（年2回のOB会実施）
- ②保健栄養教室（年3回実施）

(2) 自活退所者向け地域生活支援事業

- ①自活した退所者への給食提供、金銭管理、保健栄養相談、就労支援等
- (3) 所内行事等へのボランティア受入れによる、地域交流の促進
- (4) 社会福祉系大学・専門学校からの実習生の受入れを促進
- (5) 福祉関係団体やアルコール問題自助グループ等への定期的な会場の提供
- (6) 一時入所事業実施による地域生活安定継続支援